

# 【参考】国土交通省「スマートシティモデルプロジェクト」

## 「ドローンによる360°撮影」×「AVATOUR(360°リアルタイム空間リユース)」×「XR」による共体験

- ・リアル投影の360°視聴と、配信者と視聴者および視聴者同士のリアルタイムコミュニケーションで、**まちの魅力アップを創出**
- ・第一弾として東北大学や市内を対象に「360°カメラ」を使って撮影
- ・撮影した映像をプラットフォームにて管理し、遠隔地に配信
- ・配信映像をXRで視聴、視聴者は360°自由な視点で観たい景色をリアルに体感、かつリアルタイムで対話
- ・実験前後で体験者による魅力の質や強さの変化をアンケートと観察インタビューで分析/評価

※本プロジェクトでの視聴者は関係者のみ

配信者は視聴者とコミュニケーションを行いながら撮影/配信を実施

データのプラットフォーム  
管理/配信

視聴者は360°観たい視点で自由に映像を視聴

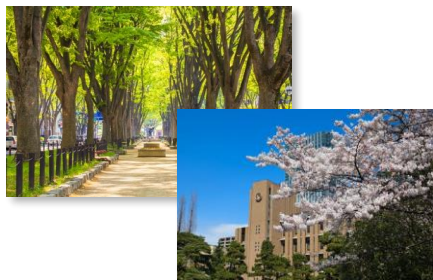
東北大学上空



上空からの撮影



仙台市・東北大学内



地上での撮影



5G / LTE

360°

配信者 ↔ 視聴者  
視聴者 ↔ 視聴者 による  
リアルタイムコミュニケーション



視聴者A

案内を受けながら  
見たい場所・モノを  
自由に見たい

視聴者同士がアバター  
として空間を共有



視聴者A 視聴者B



視聴者B

キャンパス全体を上空から  
見渡した上で自分の見たい  
場所・モノにフォーカスしたい